

手づくり 健康ニュース No.358

あおい薬局 〒349-0104 蓮田市緑町2-22-14
電話048(769)1352 発行人 並木 望

あおい薬局は

月曜・木曜・日曜・祭日は定休日です

※詳しくは下記のカレンダーをご覧ください。

現代医学では病気と診断されない血行不良(冷え)は、漢方で根本改善を!!

体が温かくなると
生理の状態は改善されます



最近是不妊症があたり前と思うくらい赤ちゃんができないと悩む人が多いように感じます。また生理痛に毎月悩む人も多く、月1回の痛みを我慢することや効き目の強い鎮痛薬を使って何とか切り抜けることをあたり前としている若い女性が多いように感じます。

ストレスの多い生活から女性の体を守るには体づくりが大切です。しっかりとした良い血液をつくり、良い血液を全身に巡らせることが健康な明るい未来につながります。

鎮痛薬は痛みだけをとるものです。
根本療法は「漢方薬」と「自分の生活習慣の改善」をお勧めします。

漢方薬

エツキ錠

360錠 7,227円(税込)

体を内側から温め、ホルモンの分泌を高め、造血の手助けをします。血行不良からくる辛い症状を楽にします。

【エツキはこんな症状に有効です】

生理痛

不妊

更年期障害

貧血

むくむ

イライラ

便秘

肌あれ

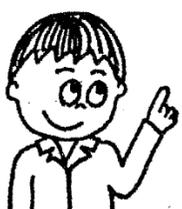
肩こり

腰痛

体のなかの血液成分が新しいものに入れ替わるためには約3~4か月かかります。

毎日少しずつ入れ替わります。

エツキは妊婦の方も授乳中のお母さんにもおすすすめしている安全な漢方です。



寄せられた声

子宮内膜症

25歳 女性



子宮内膜症で周期的にくる下腹部の痛みで苦しんでいた。生理中に痛みがくると職場から救急車で病院に運ばれることがあった。

エツキを服用するようになって3~4か月で鎮痛剤を飲む回数が減り、痛み止めの座薬は使わなくなった。毎日の生活でも、冷たいものはとらない、半身浴、下半身の保温などを徹底したことも大きな力になり、良い方向に向かっている。

赤ちゃんを授かりました 34歳 女性



結婚3年目、不妊治療を受けはじめた。いろいろな療法を受けているが、なかなか成功しなかった。「受精卵が着床する子宮がやわらかいふわふわベッドでないと赤ちゃん

がゆったりとできないでしょ」とアドバイスされ、漢方薬のエツキと活気参を飲むようになって1年半後、待望の赤ちゃんを授かることができました。エツキはお産の手助けに使ってもよいものと聞き、安心して続けている。

2021年7月予定表

蓮田店のみ

日	月	火	水	木	金	土
				1 定休日	2	3 検査値相談会 5の日サービス
4 定休日	5 定休日	6	7	8 定休日	9	10 予約のみ
11 定休日	12 定休日	13	14 5の日 サービス	15 定休日	16	17 検査値相談会
18 定休日	19 定休日 海の日	20	21	22 定休日	23	24 5の日 サービス
25 定休日	26 定休日	27	28	29 定休日 開戸支援センター	30	31 予約のみ

◇ 5の日サービス

ポイント3倍：7月3日(土)、14日(水)、24日(金)

◇ 血液検査データ・自律神経相談会予約受付中
7月3日(土)、17日(土)

注目!

※「ワクワクを打つ前に知っておくこと・やっておくこと」の小冊子差し上げております。



夏本番！コロナ禍のコロナ夏どう過ごすか



家ごもりが体力・気力を低下させているかもしれません！

知らず知らずにコロナ禍の外出不足が筋肉の低下を招き、体力を低下させています。また、漢方では動かないことで「気滞」といって気の流れが滞り、イライラ、情緒不安定などの症状が現れます。

気滞はこんな方がなりやすい

- 「責任感が強い」「精神的に繊細」「考え込んでしまう」「ストレスの発散が苦手」
- 「悩みを一人で抱え込んでしまう」「几帳面で完ペキ主義」

さらに夏は外気温が高いため、基礎代謝（熱を作る力）が1年で最も低下する季節です。

「気」の流れや「気」を上げる生薬

牛黄：牛の胆石

気の流れを良くし、こころを鎮め、血圧や体温を調整します。

人参：オタネニンジン（野菜で食べる人参とは違います）

胃腸機能を高め、体内の「気」を補います。

牛黄・人参・肝臓加水分解物配合



コンクレバンゴールド

1本 726円（税込）

10本 6,050円（税込）※1本あたり605円

人間としての謙虚さ



50年以上前、私が20歳の時、末期がんの母を看取るために大学を休学した時のことです。母を送ってから復学までの半年間をある先生のお宅で住み込みのお手伝いさんをしていただきました。当時、神戸大学医学部の教授で、日本化学療法学会会長だった石神襄次先生、奥様、当時小学生だったお二人の娘さんご家族の生き方そのものを学ばせていただいた貴重な体験の半年間でした。つい最近、先生が当時「若き医学生へ」語られたインタビュー記事（25年前に神戸の先生を訪ねた時にいただいた記事です）を読み返し、本当に「医は仁術」の先生であったことを思い、ご縁を心から感謝する気持ちで湧いてきます。先生のお話の中で一番心に残る言葉です。

「大切なことは人間としての謙虚さです。私たちが病気を治してやったと威張るのではなく、うまいチャンスに私たちが当たっているだけであって、それ以外は患者さんの自然治癒力を薬剤やいろいろな手法でたすけているのだという考え方で治療しなければなりません。」

当時、多くの難病の方との出会いの中で、自分自身の不勉強と薬剤師という職能の限界を感じ、迷いの毎日だった私にとって、それは救いの言葉でした。自分がその時にできることを誠実に、実践していくという、基本の考え方を大切にしていけばいいのだと初心に帰ることができました。コロナ自粛が続く日々ですが、一人一人が「心と体で感じる心地よさ」を大切にしつつ、自然治癒力を引き出すお手伝いができればと願っています。

LDLコレステロールも体には必要なもの



先日コレステロール検査値の勉強会がありました。母が長くコレステロールの薬を飲んでいたので興味深く拝聴しましたが、大きな衝撃を受けました。日本で一般的に処方されているコレステロールの薬を、アメリカでは女性は飲んではいけないこと。コレステロールを多く含む食品を食べなくても血中コレステロール値に影響がないこと。加齢に伴い、LDLコレステロールは必然的に高くなるものであること。そして母に「体が必要としているからコレステロールを上昇させていることもあるんだよ」と話しました。

今コロナもそうですが、溢れる情報の中で私達は翻弄され不安でいっぱいです。自分の体は自分で守る。熱が出る、下痢をする、痛みが出る、など全てに意味があり、体を守る為に出している反応です。全てを悪者にするのではなく、「どうして」熱が出たのか「どうして」下痢をしたのか、疑問を持つことが大事だと思います。検査値も基準値より高いと、それをただ漫然と抑えるのではなく、「どうして」基準値より高くなったのか、疑問に思うべきだと思います。

手づくり健康ニュース(2019年～)は下記のあおい薬局ホームページからもご覧いただけます

<http://aoimedical2019.la.coocan.jp/>

あなたの悩み…じっくり話してみませんか？相談料は無料です。お気軽にどうぞ。



健創研・ホノミ漢方会会員 心とからだの健康相談は

あおい薬局

〒349-0104 埼玉県蓮田市緑町2-22-14

電話 048-769-1352

営業時間 AM9:30～PM6:00 駐車場4台完備

月曜・木曜・日曜
祭日は定休日です